



7月園だより



あやめ原こども園
令和2年7月

梅雨が明ければ夏本番となります。園にプールが設置され、プール遊びが始まりました。子どもたちは気持ちのいい水の感触を喜び、心ウキウキで楽しんでます。

楽しく安全に水遊びを楽しむためにも、体調の優れないときは無理をしないようお願いします。

今月の保育目標

- * 個々の子どもの気持ちを十分受け止め、安定して生活できるようにする。
- * 健康や安全に気をつけながら、色々な夏の遊びを経験し楽しさを味わう。

～プール活動のお願い・お知らせ～

☆期間中は毎日…検温、入・禁、印の記入をお願いします。
(※未記入の場合、入れません。)

☆こんな時もし入れません！

- ・目の病気（結膜炎など）・耳の病気（中耳炎など）・アタマジラミ
- ・皮膚疾患（水いぼ、湿疹など）

☆プールに限らず、シャワーや泥んこ遊びもします。タオルを使った日は持ち帰りますので、次の日にまた準備をして持たせて下さい。

(※水着は週末持ち帰ります。)



●虫に気を付けて！

蜂や蚊など刺される危険のある虫が飛び始める夏。戸外へ出かけるときは帽子や虫除けスプレーなどで予防しましょう。蚊は日本脳炎、マラリア、デング熱、ウエストナイル熱の病原体を媒介します。蚊が発生する水たまりはないか等、周りの環境も見直しておきましょう。



かゆみのある湿しんは「とびひ」かも

虫刺されや湿しんなどで傷ついた肌を汚れたつめでひっかくと、傷口に細菌が感染して「とびひ(伝染性膿痂疹)」になります。うみをもったような水ぼうがで、強いかゆみが出ます。かゆいからといってひっかくと大変！水ぼうがが破れて中の液が付いた所に、とびひがどんどん広がってしまうのです。水ぼうを見つけたら、つめでひっかかないようにガーゼで覆い、受診しましょう。

ほくたちのつめも、忘れずに短く切ってね

お父さんお母さん、七夕飾りをありがとうございました。

子ども達が笹の葉に飾り付けて、賑やかになりました。

みんなの願いが叶いますように・・・ご協力ありがとうございました。

日	曜	行事予定
1	水	
2	木	体操教室
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	英語教室
8	水	
9	木	体操教室
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	英語教室
15	水	
16	木	体操教室
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	英語教室
22	水	
23	木	海の日
24	金	スポーツの日
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	英語教室
29	水	誕生会
30	木	体操教室
31	金	お便り配布

～子どものわがままで困った時の言葉かけ～



すぐにかんしゃくを起こす、ぐずぐずして動こうとしない。

思い通りにならない子どもを前にして、ついガミガミ言ってしまう・・・。

感情的になった後は「こんなはずじゃなかったのに」と悲しい気持ちになりますよね。悩んでるということは、あなたがお子さんを大事に思っている証拠です

親の「叱り方」を子どもは3つの目で見ています

1☆ 子どもは「態度」を見ています。

子どもは本来、親に受け入れてもらいたい、気に入ってもらいたいと思っており、親の顔色を伺い試していることがよくあります。子どもにとって親の態度が善悪の基準、一貫した態度が望まれます。小さなことの積み重ねがしつけとなり、「叱る」事の効果をもたらしているのです。

2☆ 子どもは親の「過剰な期待」を見ています。

失敗しないで一生を過ごすことは出来ません。失敗した時に乗り越えることこそが「大事」なことで、その対応で「自信」が育まれていきます。叱るだけでなく乗り越えるヒントも与えたいものです。

3☆ 子どもは親の「言い訳」を見ています。

子どもは親の「叱責」の理由を見抜いています。「叱る」という状況に親としての感情を巻き込んでいかにしなければいけません。心から子どものために「叱る言葉」だけが、子どもの心に響いていくでしょう。

子どもの気持ちを沈める対策法～5つ～

- ① 泣き叫ぶときは、思い通りにいかない、理解してもらえない、受容等があります。3歳頃は何となく不安を感じて泣くこともあります。原因が分かっているときは取り除き「お母さんはここにいるからね」と伝え、クールダウンするのを待ちゆっくり見守りましょう。
- ② 暴れるときは思い通りにならない、言葉で表現できない、自分の気持ちを受け入れてもらえない等があります。常に子どもの様子を観察し荒れる前兆に注意しましょう。
- ③ すねるときは、注目を集めたい、人と比較されて劣っていると評価された時等があります。時には要求が通らないこともあることを教えましょう。
- ④ 暴言を吐くときは、自分の気持ちがコントロールできず、相手に対して暴言を吐き、自己肯定感をもてずにいる子どももいます。子どもの良さを認める言葉を掛けましょう。
- ⑤ 嘘をつく、意地悪な行動をとる時は、「良い子」と思われたいなどの思いから、このような行動をとることがあります。子どもの話をしっかり聴き、本当の気持ちを引き出し、気持ちを理解することから始めましょう。